

認知症疾患医療部（神戸市認知症疾患医療センター）

主な対象疾患

- ・ 認知症疾患の鑑別診断
- ・ アルツハイマー型認知症 (AD)：抗アミロイド抗体医薬（レカネマブ・ドナネマブ）の適応判断を含む
- ・ 軽度認知障害 (MCI)：生活障害には至っていないが、将来的な進行リスクがある状態



部長
きはら たけし
木原 武士
H4年卒

資格等

日本内科学会認定内科医
日本内科学会総合内科専門医
日本神経学会専門医・指導医
日本認知症学会専門医・指導医

診療概要・特色

●最新の「抗アミロイド抗体医薬」に対応した高度な診断体制

当院は、レカネマブ・ドナネマブの適正使用ガイドラインを満たす施設・医師要件を完備しています。抗アミロイド抗体医薬専用の外来はありませんが、スクリーニング検査で対象となりうる方には薬剤について説明して希望を確認しております。また、MRI (1.5T) や中央市民病院と連携したアミロイドPETを活用し、アルツハイマー病の根本治療を見据えた精密な診断が可能です。

●画像解析・検体検査を駆使した「治療可能な認知症」の鑑別

MRIによる海馬萎縮の数値化 (VSRAD) や心理テスト、髄液検査に加え、身体疾患（内分泌・栄養等）や薬剤起因性の認知機能低下を徹底的に精査します。原則、受診当日にCT撮像や血液検査を行うなど迅速な診断を行っています。

●かかりつけ医との連携を重視した「診断・導入」特化型外来

当外来の役割は「鑑別診断と初期の薬物治療導入」までとし、病状安定後は速やかに地域の先生方へ逆紹介させていただきます。現在の初診予約については、「1日3枠（月曜～木曜）」となっております。神戸市の「認知症診断補助制度」の2次検診機関としてもご紹介お願いいたします。

地域医療機関の先生方へ：ご紹介時のお願い

- ・ ご家族の同伴：本人の日常生活の正確な変化を把握するため、ご家族様等の同伴受診をお願いしております。
- ・ 早期のご相談：下記のようなサインがあれば、「脳の健康診断」としてぜひご紹介ください。
 - 受診の目安となる具体的な症状
 - ・ 記憶・見当識の不安：昨日の夕食が思い出せない、最近のニュースが覚えられない、予約日を間違える。
 - ・ 生活上の支障：薬の管理ができない、支払いがスムーズにできない。
 - ・ 遂行機能の低下：計画的に物事を実行できない、ボタンがはめられない（失行）など。